

令和元年度 中小企業振興施策の実施状況

資料3-1

市の施策	第2次中小企業振興のためのアクションプラン
期間	平成31・令和元(2019)年度から令和5(2023)年度までの5年間

三木市中小企業振興条例第4条に規定する施策

(1) 経営の革新及び経営基盤の強化並びに創業を促進するための施策						
	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備考
ア	経営革新支援事業	中小企業の経営革新、経営基盤の強化、創業等を総合的に支援するため、地域支援拠点として、中小企業サポートセンターを運営して、商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、中小企業診断士(認定経営革新等支援機関)による窓口相談、企業訪問等を行います。	窓口相談 790件 企業訪問 862件 計1,652件	相談件数(窓口相談・企業訪問) 1,650件	窓口相談 1,024件 企業訪問 718件 計1,742件(うち新型コロナ相談 73件)	実施主体: 中小企業サポートセンター R2年3月から新型コロナ対策相談窓口を開設
			経営革新計画(県)の承認 8件 経営力向上計画(国)の認定 7件 計15件	経営革新計画(県)の承認・経営力向上計画(国)の認定件数 10件	経営革新計画(県)の承認 2件 経営力向上計画(国)の認定 16件 計18件 【追加】事業継続力強化計画(BCP)(国)の認定 2件	H30年6月末～ 経営力向上計画(国)の認定による固定資産税の優遇措置が先端設備等導入計画(市)の認定に変わっている。 実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
			補助金(国・県・その他)採択 15件	補助金(国・県・その他)採択件数 15件	補助金(国・県・その他)採択 22件 国:ものづくり4・小規模事業者持続化12・軽減税率2・石油製品販売1、県:起業家1、事業継続(事業承継)2	実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
			融資(国・県・民間)実行 14件	融資(国・県・民間)実行件数 15件	融資(国・県・民間)実行 5件 国:創業融資(日本政策金融公庫)5	実施主体: 中小企業サポートセンター(計画支援)
			セミナー・説明会等開催 2回	セミナー・説明会等開催回数 2回	セミナー・説明会等開催回数 0回 ※コロナ禍により年度末の説明会企画を断念	例年、国の補助金説明会、勉強会等を開催 実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
イ	設備投資促進事業	経営革新(イノベーション)を推進するため、設備・IT等を整備する中小企業を支援するとともに、中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、先端設備等を導入し、生産性の向上を図る中小企業を支援します。	中小企業者等設備投資促進事業補助金 37件	中小企業経営革新設備投資促進事業補助件数 25件	中小企業経営革新設備投資促進事業補助金 17件 補助金総額 37,104千円 応募者数 23件	H30年度～ 経営革新を行っている中小企業の補助率引き上げによる優遇措置
			—	先端設備等導入計画の認定件数 20件	先端設備等導入計画の認定 53件 導入計画総額 1,640,081千円	生産性向上特措法に基づく先端設備等導入計画(市)の制度開始 H30年6月末～3年間
ウ	事業承継支援事業	経営者の高齢化に伴う廃業を防止するため、中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、中小企業の円滑な事業承継を支援します。	—	事業承継計画の策定・特例承継計画(県)の確認件数 3件	特例承継計画(県)の確認 6件 【追加】特例贈与(県)の認定 3件	特例承継計画(県)の制度開始 H30年4月～5年間 実施主体: 中小企業サポートセンター(申請支援)
エ	連携支援事業	中小企業と中小企業、大企業、同業種、異業種、大学等とが連携し、新製品(最終製品等)・新技術の開発、販路開拓、成長産業分野への参入、人材育成、共同化等の取組を行う市内の複数の中小企業が主体となるグループを支援します。	—	(仮)中小企業連携支援事業補助件数 1件	—	R4年度予定～ 新規事業として事務局検討
オ	起業家支援事業	市内の多様な世代の創業を実現するため、中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、創業セミナー等の支援をするとともに、起業しやすい環境の整備を支援します。	創業セミナーの開催 5回	創業セミナーの開催回数 5回	創業セミナーの開催回数 4回 参加者数 22人(延べ69人) ※コロナ禍で2/29中止	実施主体: 中小企業サポートセンター
			起業家支援事業補助金 3件	起業家支援事業補助件数 4件	起業家支援事業補助金 3件 補助金総額 1,478千円 応募者数 3件	

			起業家支援利息補給制度 申込 8件	起業家支援利息補給制度 申込件数 8件	起業家支援利息補給制度 申込 3件 全体の補給対象者 28件 全体の補給総額 662千円	
			創業実現者 15人	創業実現者数 15人	創業実現者数 9人 (男6人 女3人)	実施主体: 中小企業サポートセンター

(2) 新たな産業を創出するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備考
ア	新産業創出事業	観光の振興と地域の活性化を図るため、観光協会、商工会議所、商工会等との連携を強化しながら、三木の歴史・文化・先人・地域産品(山田錦)等の地域資源を活用した新たな観光特産品を開発する事業者を支援します。	観光特産品開発 補助金 0件	観光特産品開発 補助件数 1件	観光特産品開発促進 補助金 1件 補助金額 138千円	

(3) 技術力、経営力の高度化を促進するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績	年度目標	実施状況	備考
ア	技術支援事業	新製品や新技術の開発を促進するため、特許権、実用新案権、意匠権の取得を行おうとする中小企業を支援します。	中小企業特許権等取得 助成金 11件	中小企業特許権等取得 助成件数 10件	中小企業特許権等取得 助成金 8件(8社) 内訳: 特許権6(6社)・実用新案権1(1社)・意匠権2(2社) 助成金総額 944千円	

(4) 市内経済の循環を促進するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備考
ア	商店街支援事業	商店街の活性化を図るため、商店街連合会、商工会議所との連携を強化しながら、空き店舗を活用した新規出店、にぎわいづくり、販売促進、先進地視察等を支援します。	商店街パワーアップ事業 チャレンジショップ 3件	商店街パワーアップ事業 チャレンジショップ件数 3件	商店街パワーアップ事業 チャレンジショップ 1件 補助金額 500千円	実施主体: 商店街パワーアップ事業推進委員会(三木商工会議所・三木市商店街連合会・三木市)
			商店街パワーアップ事業 にぎわい広場 2件	商店街パワーアップ事業 にぎわい広場件数 2件	商店街パワーアップ事業 にぎわい広場 0件 【再掲】補助金額 500千円	実施主体: 商店街パワーアップ事業推進委員会(三木商工会議所・三木市商店街連合会・三木市)
			商店街販売促進事業 歳末感謝セール 1回	商店街販売促進事業 歳末感謝セール回数 1回	商店街販売促進事業 歳末感謝セール 1回 補助金額 450千円(実施主体へ補助)	三木地区・自由が丘地区・緑が丘地区の商店街等 実施主体: 三木市商店街連合会
			夢ステーション 利用者 45,284人	夢ステーション 利用者数 46,000人	夢ステーション 利用者 35,390人	旧三木鉄道跡に食品販売店(飲食喫茶併設)を設置 運営主体: 三木市商店街連合会
			商業振興事業視察研修 2回	商業振興事業視察研修回数 2回	商業振興事業視察研修 2回 繁盛店見学会1回(岡山方面) 参加者18人 先進地商店街等視察研修会1回(田辺市・和歌山市の商店街等) 参加者26人	繁盛店の実施主体: 三木商工会議所 先進地商店街の実施主体: 三木市商店街連合会

(5) 社会経済情勢の変化への適応を円滑化するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備考
ア	金融対策事業	セーフティネット機能を維持するため、中小企業に対して、低金利の事業資金の融資斡旋等を行うとともに業況の悪化している業種等で経営の安定に支障が生じていると認められる中小企業を支援します。	中小企業振興資金融資斡旋制度 融資実行 小規模53件 一般10件 計63件	中小企業振興資金融資斡旋制度 融資実行件数 15件	中小企業振興資金融資斡旋制度 融資実行 小規模4件 一般3件 計 7件 融資実行総額 29,000千円 保証料補給 6件 保証料補給総額 202千円 小規模利息補給 417件(上期213件 下期204件) 小規模利息補給総額 10,059千円(上期5,621千円 下期4,438千円) 融資残高件数 270件 融資残高総額 980,703千円	小規模事業者無担保無保証人資金については、H30～利息補給100%→20%、信用保証料補給100%→50%に引き下げた(元に戻した)ため、利用件数は減少
			中小企業信用保険法に基づくセーフティネット5号の認定 24件	中小企業信用保険法に基づくセーフティネット5号の認定 15件	【新型コロナ対策】 中小企業信用保険法に基づく認定セーフティネット4号の認定 27件(うち新型コロナ対策 27件) セーフティネット5号の認定 17件(うち新型コロナ対策 4件) 危機関連保証の認定 5件(うち新型コロナ対策 5件) 計 49件(うち新型コロナ対策 36件) 小規模事業者持続化補助金の新型コロナの影響による売上減少証明書 1件	コロナ禍で景気動向が後退し、R2年3月に新型コロナ対策(新型コロナ感染症の影響による売上減少)の認定制度が開始したことから、利用件数が増加 【新型コロナ対策】 4号:20%売上減少 5号:5%売上減少 危機関連保証:15%売上減少
イ	【新型コロナ対策】 緊急経済対策事業 セーフティネット型	市・中小企業サポートセンターと商工会議所、商工会、金融機関等との連携を強化しながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けている市内の中小企業・小規模事業者の事業の継続を支援します。	—	—	【新型コロナ対策】 金融・経営相談 市商工振興課 80件 中小企業サポートセンター 73件(再掲) 三木商工会議所 68件 吉川町商工会 16件 計237件	R2年3月から市商工振興課、中小企業サポートセンター、三木商工会議所、吉川町商工会に新型コロナ対策相談窓口を開設

(6) 情報収集及び発信を促進するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備考
ア	海外展開支援事業	三木金物の海外市場での販路開拓を強化するため、商工会議所と連携しながら、ドイツ国際見本市への出展等を支援するとともに、金物商工協同組合連合会と連携しながら、「みきかなもんプロジェクト」を推進し、新製品開発、市場調査、展示会への出展等の三木金物ブランドの海外展開を支援します。	ドイツ国際見本市 海外進出 1回(2年に1回) ケルン国際ハードウェアメッセ みきかなもんプロジェクト 海外進出 1回 台湾五金展	海外進出回数 1回	ドイツ国際見本市 海外進出 0回 ※コロナ禍でケルン国際ハードウェアメッセ延期中止 みきかなもんプロジェクト 海外進出 3回 台湾五金展1回 14社 ベトナム木工機械展1回 4社 ベトナムハードウェア&ハンドツール展1回3社 補助金 6,460千円	ドイツ国際見本市の実施主体:三木商工会議所 みきかなもんプロジェクトの実施主体:三木金物商工協同組合連合会 みきかなもんプロジェクトは、令和2年度末で終了する。(H28～R2 5カ年)
イ	情報発信促進事業	地域産業のPRと販路拡大を図るため、金物商工協同組合連合会、工業協同組合、金物卸商協同組合、商工会議所等と連携し、金物まつり等の産業見本市の開催、見本市の出展、金物展示館の出展、金物大学、三木金物ニューハードウェア賞の認定中小企業、金物鷲等を支援します。	見本市・展示会等開催 3回 金物まつり 金物フェア(金物まつりと同時) 鍛冶でっせ	見本市・展示会等開催回数 3回	見本市・展示会等開催 3回 金物まつり 1回 参加事業所 183団体 来場者数168,000人 補助金額 19,000千円 金物フェア(金物まつりと同時) 1回 参加事業所 展示即売68社 びっくり市12社 来場者数 24,135人 補助金額 2,750千円 鍛冶でっせ 1回 参加事業所 43社 来場者数 7,000人 補助金額 2,500千円	金物まつりの実施主体:三木金物まつり実行員会(三木市・三木商工会議所等) 金物フェアの実施主体:金物フェア委員会(三木商工会議所・三木市) 鍛冶でっせの実施主体:三木金物商工協同組合連合会(鍛冶でっせ実行委員会)

			見本市への出展補助 3件 DIYショー(幕張メッセ) 国際道工具EXPO(幕張メッセ) 東京インターナショナルギフト ショー	見本市への出展補助件数 3件	見本市への出展補助 3件 DIYショー(幕張メッセ) 1回 19社 国際道工具EXPO(幕張メッセ)1回 17社 東京インターナショナルギフトショー1回 6社 補助金総額 7,520千円	実施主体:三木金物商工協同組合連 合会、事業所
			金物展示館 利用者 11,803人	金物展示館 利用者数 12,000人	金物展示館 利用者数 11,173人 補助金額 2,500千円	道の駅みきの金物展示館で三木金物の 展示販売 運営主体:全三木金物卸商協同組合
			金物大学(金物まつりと同時)開催 1回	金物大学開催回数 1回	金物大学(金物まつりと同時)開催 1回 講師 三木工業協同組合会員(金物製造) 参加者 11人(全国の金物小売店)	
			三木金物ニューハードウェア賞 認定9点	三木金物ニューハードウェア賞認定点 数 10点	三木金物ニューハードウェア賞 認定 11点(10社) 別途努力賞1点(1社) 助成金総額 830千円 パンフレット配布数 2,866事業所(全国の金 物小売店等) 応募者数 16点(11社)	助成金(賞金) グランプリ 300千円 金賞 200千円 デザイン特別賞 100千円 ニューハードウェア賞 50千円 努力賞 30千円
			金物鷺展示 2回 金物まつり他	金物鷺展示回数 2回	金物鷺展示 2回 金物まつり1回 フィッシングショー-OSAKA1回 補助金額 2,500千円	実施主体:三木金物商工協同組合連 合会
ウ	観光資源活用事業	市内観光資源の魅力を訴求するため、観光協 会、商工会議所、商工会等との連携を強化 しながら、道の駅、ホースランド、山田錦の館・ 温泉交流館よかたん、金物資料館等の観光 資源を活用して、多様な媒体(メディア)による PR等の情報発信を強化します。	道の駅 利用者 365,449人	道の駅 利用者数 373,000人	道の駅みき 利用者 323,981人	運営主体:みきやま(株)
			ホースランドパーク 利用者 189,460人	ホースランドパーク 利用者数 193,000人	ホースランドパーク 利用者 209,695人	運営主体:(公財)三木山人と馬とのふれ あい協会
			山田錦の館 利用者数 436,627人	山田錦の館 利用者数 445,000人	山田錦の館 利用者数 416,126人	運営主体:(株)吉川まちづくり公社
			温泉交流館よかたん 利用者 213,051人	温泉交流館よかたん 利用者数 217,000人	温泉交流館よかたん 利用者 212,359人	運営主体:(株)吉川まちづくり公社
			金物資料館 利用者 5,361人	金物資料館 利用者数 5,500人	金物資料館 利用者 3,963人	金物まつりのメイン会場移転(市役所周 辺→三木山総合公園)に伴い利用者が 減少
			外国語版観光パンフレット 2,000部	外国語版観光パンフレット部数 2,000部	外国語版観光パンフレット 1,000部(英語) 三木おりおり	H30年度 三木おりおり 5,100部(仏語)

(7) 雇用の安定及び人材を育成するための施策

	事業名称	事業概要	29年度実績 基準値	年度目標	実施状況	備 考
ア	人材育成支援事業	人手不足の状況下で、経営者、従業員が中 小企業大学校やポリテクセンターの研修等を 活用して、生産性の向上をめざす人材育成を 行う中小企業を支援します。	中小企業人材育成事業 補助金 3件	中小企業人材育成事業 補助件数 6件	中小企業人材育成事業 補助金 3件 中小企業大学校1・ポリテクセンター2 補助金総額 35千円	
			三木金物後継者育成事業 親方弟子育成補助金 0件	三木金物後継者育成事業 親方弟子育成 補助件数 1件	三木金物後継者育成事業 親方弟子育成補助金 0件	雇用型であるため、利用数が低い。 令和4年度～予定 事業承継と技術継承 の両方を同時に行う制度にできないか検 討中

イ	技術継承支援事業	長年培われた三木金物の伝統技術を保存継承するために、後継者育成、技術継承セミナーの開催、古式鍛錬技術の保存等の技術の継承を支援するとともに、市内小学校で三木金物を活用したふれあい体験事業を行います。	三木金物後継者育成事業 技術継承セミナー 64回	三木金物後継者育成事業 技術継承セミナー回数 64回	三木金物後継者育成事業 技術継承セミナー 84回 延べ198名 毎月第1・3土曜日 鋸目立て 21回 延べ29名 包丁研ぎ 21回 延べ85名 鋸製造 21回 延べ23名 銘切り 21回 延べ61名 補助金額 864千円	実施主体:三木工業協同組合
			金物古式鍛錬技術保存事業 古式鍛錬 12回	金物古式鍛錬技術保存事業 古式鍛錬回数 12回	金物古式鍛錬技術保存事業 古式鍛錬 13回(古式鍛錬公開実演) 毎月第1日曜日(原則) 補助金額 900千円	実施主体:三木金物古式鍛錬技術保存会
			三木金物ふれあい体験事業 市内小学校 16回	三木金物ふれあい体験事業 市内小学校 16回	三木金物ふれあい体験事業 市内小学校 16回 参加児童数 663人 参加保護者数 467人	
ウ	雇用安定事業	雇用の安定を図るため、ふるさとハローワークを設置し、求職者への職業相談、職業紹介、求人情報の提供により、雇用のマッチングを促進するとともに、三木商工会議所、公共職業安定所(ハローワーク)等と連携して、求人求職面接会の開催を行います。また、若年者の雇用や奨学金返済支援に積極的な中小企業を支援します。	三木市ふるさとハローワーク 職業紹介成功率(採用/紹介) 22.4%	三木市ふるさとハローワーク 職業紹介成功率(採用/紹介) 23.0%	三木市ふるさとハローワーク 職業紹介成功率(採用/紹介) 21.4%	実施主体:ハローワーク西神・三木市
			求人求職面接会開催 2回	求人求職面接会開催回数 2回	求人求職面接会開催 2回 6月 事業所数 38社 参加人数 65人 2月 事業所数 34社 参加人数 44人	実施主体:三木商工会議所・ハローワーク西神・三木市・三木地域雇用開発協会
			若年者雇用促進助成 15人	若年者雇用促進 助成人数 15人	若年者雇用促進助成 17人(12事業所) 助成金総額 1,700千円	
			中小企業奨学金返済支援制度事業 補助人数 0人	中小企業奨学金返済支援制度事業 補助人数 1人	中小企業奨学金返済支援制度事業 補助人数 1人(1社) 補助金額 60千円	利用が少ないため、R3年度以降、事業を継続するかどうか検討中